

2012年1月

日本共産党庄原市議会議員 藤木くにあき

ご町内のみなさん。あけましておめでとうございます。

日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。

日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私たち日本共産党は、「くらしをなんとかしてほしい。平和な社会にしてほしい」という、みなさんの願いをしっかりと受けとめ、その実現に、ひきつづき、全力でとりくんでまいります。どうか、よろしくお願いいたします。

さて、みなさん。

今日は、庄原保育所の民間委託の計画をやめさせるため、みなさんのお力添えをいただきたく、お訴えに、お伺いいたしました。

みなさんもお承知のとおり、 $\text{H}25$ 年度に、庄原保育所は、移転、新築することになっています。

新しい保育所は、子どもたちにも、環境にもやさしい、本格的な木造建築の、すばらしい保育所になる予定です。

しかし、問題は、新しい庄原保育所ができあがったら、現在、保育にあたっている市の職員を、全てひきあげ、高齢者福祉施設を運営している、ある社会福祉法人に、安い委託料を払って、運営させようとしていることです。

庄原市の将来を担う子どもたちを育む保育は、自治体本来の、大切な、仕事です。

それなのに、現在、保育にあたっている市の職員を、全てひきあげ、「民間の社会福祉法人が、新たに雇用する職員に、慣れないなかで、しかも、安い賃金で、保育にあたらせよう」という、無茶な計画は、とうてい、許されるものではありません。

定員を150名から200名に増員する、庄原保育所の充実のため、必要な予算の増額、市の保育職員の増員は、当然のことであり、全てに優先して確保すべきものではないでしょうか。

そして、保護者のみなさんの要望に応え、市が直接、責任をもって、運営すべきではないでしょうか。

「予算がないから、庄原保育所を、民間の社会福祉法人に、安い委託料で運営させる」といいながら、一方で、補助金詐欺にあい、破綻した株式会社ジュオンに5億円もの税金を投入したり、高野町に9億5千5百万円もかけて、「道の駅」をつくろうとしたり、しています。

本来なら、そういう予算こそ、まず、節約し、保育の充実にあてるべきではないでしょうか。

私たち、日本共産党は、「保護者のみなさん、市民のみなさんの願いや声で動く市政」を実現するため、滝口市長の政治姿勢を厳しく追及し、ひきつづき、全力をつくしてまいります。

庄原市の将来を担う子どもたちのために、庄原保育所の民間委託の計画を、なんとしても、中止させようではありませんか。

みなさんのお力添えを、心からお願いいたしまして、お訴えとさせていただきます。

ご清聴いただき誠にありがとうございました。どうか、よろしくお願いいたします。